

マスクフィットテスター

AccuFIT9000





構成品目

■ 標準品

品名	型番	個数
本体	-	1
AC アダプタ、電源コード (100-240V、12V 2A)	3000-10	1
ゼロチェック HEPA フィルタ	3000-62	1
アルコールボトル	3000-70	1
保存キャップ	3000-71	1
アルコールカートリッジ	3000-60	1
交換用フェルト・金属メッシュ	3000-61	2
チューブ	3000-72	1
USB メモリ	3000-75	1
USB ケーブル	3000-20	1
イーサネットケーブル	3000-21	1
ネックストラップ	3000-74	1
ソフトウェアダウンロードサイトのご案内	-	1
凝縮液ラベル(IPA, エタノール)	-	1

■ 消耗品

品名	型番	個数
ゼロチェック HEPA フィルタ	3000-62	1
アルコールカートリッジ	3000-60	1
交換用フェルト・金属メッシュ	3000-61	2

■ 別売品

品名	型番	個数
プローブ装着治具	3000-81	1
プローブキット(100 セット)	3000-63	1
ハードタイプキャリングケース	3000-77	1
ソフトタイプキャリングケース	3000-79	1
粒子発生器	3000-84	1
フィットチェックプローブ(50 個入)	3000-87	1

消耗品の詳細については、日本カノマックス㈱、あるいは販売元の代理店へお問い合わせくだ さい。

レーザークラス

本装置は、次の規格に基づくクラス1レーザー製品です。

• EN60825-1: 2014

CLASS 1 LASER PRODUCT EN60825-1 : 2014

レーザー光の取扱について



− 本装置は、本体ケース内部のセンサ光源にレーザーを使用しております。
 本体ケースの開閉及び内部のレーザー光学センサの分解は絶対に行わないでください。

波長	660nm
最大出力	20mW
ビルたけみ	13-22 度 (垂直方向)
レーム放射用	6-10 度 (水平方向)



注意 — ここに規定された以外の手順による制御や調整は, 危険なレーザー放射の被ば くをもたらします。

ご使用いただく前に

当社では、取扱説明書の中での警告の種類と定義を以下のように定めています。

〔表示の説明〕



警告 : 人身事故防止用

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人身事故の発生する危険が想定される内容を示して います。



注意 :製品損傷防止用

この表示を無視して誤った取扱いをすると、製品に物的損傷を与えるか、性能保証できない場合 が想定される内容を示しています。

〔絵表示の説明〕



△記号は注意(危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は高温注意)が描かれています。



● 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や横に具体的な禁止事項(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制あるいは指示する内容を告げるものです。
 図の横に具体的な指示内容が描かれています。





○ 本器より異常音、異常な臭い、煙などが発生した場合や本器内に液体などが混入した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電池または電源プラグを抜いてください。

…… 感電や発火、本器の故障の恐れがあります。ご購入先もしくは日本カノマック ス㈱サービスセンターまで修理をご依頼ください。



	故障・破損の原因となります。
	O 本製品に水または溶剤など液体を吸い込ませないで下さい。
	本製品の配管詰まりや測定値に影響を与えるなどの原因になる恐れがありま す。
	○ 水または溶剤など液体が残留しているチューブは、十分に乾燥させてから使用して下さい。
正しく取扱う	○ 本体を移動させる場合は電源を OFF にしてください。
0	○ 本製品使用中、チューブ内側に結露、または水滴が見られましたら十分に乾燥させてから測定して下さい。
	 ○ 廃棄の際は、一般ゴミと一緒に捨てないで下さい。 計測器および電池を廃棄する際は、国又は地方自治体の条例に従って下さい。 または販売代理店までお問い合わせ下さい。
正しく取扱う	
0	○ 仕様範囲以上の環境で動作させないでください。 (例:100,000 粒子/cc を超える環境)
	○ 帯電した状態で、本器を触らないでください。 測定値に影響を与えるなど、本体回路破損などの原因となります。
	 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、急激な温度変化により結露することがあります。 結露は素子部分に発生すると正しく測定できない事があります。 また、金属部分に結露すると錆が発生し故障の原因となる可能性があります。
	○ 結露の原因となるため、本体を寒いところから急に暖かいところに移動させない で下さい。

目次

1.	各部の名称と働き1
	1.1 本体1
	1.2 ソフトウェア画面2
2.	測定原理
	2.1 原理
3.	測定前に
	3.1 アルコール補充
	3.1.1 準備
	3.1.2 アルコールカートリッジへのアルコール液供給6
	3.1.3 アルコールカートリッジの取り付け法7
	3.2 本体準備
	3.2.1 外部メモリの確認8
	3.2.2 データベース選択9
	3.2.3 パーティクルチェック9
	3.2.4 ゼロチェック10
	3.2.5 フィットファクタ10
	3.2.6 バリデーションチェック設定10
	3.2.7 粒子発生器を使用するときの注意点11
	3.3 被験者準備11
4.	計測12
	4.1 フィットテスト12
	4.1.1 ステップ 1
	4.1.2 ステップ 213
	4.1.3 ステップ 313
	4.1.4 ステップ414
	4.2 フィットチェック16
	4.2.1 ステップ 1
	4.2.2 ステップ 216
	4.2.3 設定
	4.2.4 フィットチェックプローブの使用方法18
	4.3 記録19

	4.4 印刷	
	4.5 リアルタイム計測	
	4.6 管理者モード(アドバンスモード)	21
	4.7 外部制御モード	
5.	設定と管理	22
	5.1 管理	
	5.1.1 被験者	22
	5.1.2 マスク	23
	5.1.3 プロトコル	24
	5.1.4 フィットテストレポート	26
	5.1.5 データベースを選択	26
	5.1.6 ツールボックス	27
	5.2 設定	
	5.2.1 プリンターのセットアップ	
	5.2.2 通信	29
	5.2.3 設定	
	5.2.4 日付と時刻	
	5.2.5 タッチパネルの補正	
	5.2.6 本体の情報	
6.	メンテナンス	32
	6.1 校正	
	6.2 アルコールカートリッジ	
	6.3 メッシュ(インレット)	
	6.4 チューブ	
7.	主な仕様	35
8.	トラブルシューティング	36
9.	製品保証とアフターサービス	

1. 各部の名称と働き

1.1 本体

・本体正面

・本体背面



電源ボタン (A) 本体の主電源を入れます。 (B) タッチパネル 画面の操作はこのパネルを用いて行います。 インレットノズル 大気中の粒子濃度を定義するためのインレットノズルです。 (C) (Ambient) インレットノズル マスク内部の粒子を計測するインレットノズルです。 (D) (Sample) (B) のタッチパネルを操作するためのペンです。 タッチペン (E) (F) アルコールカートリッジ 測定の際に必要なアルコールを供給します。 USB ポート (TypeB) (G) PC と接続するためのポートです。 (H) USB ポート (TypeA) USB メモリやプリンターを接続するためのポートです。 (I) LANポート 有線で LAN ケーブルを接続します。 (J) AC アダプタ取り付け口 本体の電源用のアダプタの取り付け口です。 冷却ファン 本体内部冷却用のファンです。 (K) (正しい動作温度を保持するためのファンです。)

1.2 ソフトウェア画面

①ホーム 画面



(1)	フィットテスト	マスクフィットテストを実行します。
(2)	バリデーションチ	マスクフィットテスト実行前のシステム点検を行います。
	エック	
(3)	リアルタイム	リアルタイムのフィットファクタチャートと、周辺のパーティクル濃度を
		表示する。
(4)	管理	②の画面に進みます。詳細は 5.設定と管理を確認してください。
(5)	セットアップ	③の画面に進みます。詳細は 5.設定と管理を確認してください。
(6)	フィットチェック	マスクフィットチェックを実行します。

2 管理 画面



(7)	被験者	被験者の情報をリスト上で確認・選択ができます。
		新しい被験者の情報をデータベースに登録ができます。
(8)	マスク	登録しているマスクをリスト上で確認・選択ができます。
		新しいマスクの情報をデータベースに登録ができます。

(9)	プロトコル	登録しているテストのプロトコルの確認・選択ができます。
(10)	フィットテストレポート	実行されたフィットテストの結果を表示できます。
(11)	データベースを選択	読み込むデータベース選択を行うことができます。
(12)	ツールボックス	上級者向けの設定を行うことができます。

③ 設定 画面



(13)	プリンターのセットアップ	プリンターへの設定を行えます。
(14)	通信	ネット環境の確認・設定が行えます。
(15)	設定	本体の設定を行えます。
(16)	日付と時刻	装置内部の日時情報を編集できます。
(17)	タッチパネルの補正	タッチスクリーンの校正を行えます。
(18)	本体の情報	本体情報を確認できます。

2. 測定原理

2.1 原理

本装置は外気中の粒子濃度とマスク内部の粒子の濃度を計測し、その比を取ることでマスクのフィット 具合を計測します。これらの濃度比はフィットファクタと呼ばれています。フィットファクタが 100 を 示すということは基本的にはマスク内部が外気に比べて 100 倍澄んだ空気であることを示しています。

本装置においては外部濃度に関してはマスクフィットテストの前後で計二回行い計測を行っています。 外気中の粒子濃度は時間とともに変化しやすいために、本装置では各マスクフィットテストの前後で外 気粒子濃度を計測し、その平均を用いて濃度算出を行います。 最初の計測では外気の粒子濃度を計測する必要がありますが、二回目以降の計測ではフィットテスト後 に計測した値を利用するので、計測する必要はありません。

$$\mathbf{F} = \frac{C_{before} + C_{after}}{2C_{mask}}$$

F :フィットファクタ C_{before}:計測前外気粒子濃度 C_{after}:計測後外気粒子濃度 C_{mask}:マスク内部粒子濃度

3. 測定前に

3.1 アルコール補充

	本装置に使用するイソプロピルアルコール、エタノールは危険物質です。
	目や肌に触れないようにしてください。化学物質安全性データシート(SDS) を
	参考に、アルコール専用の容器に入れて保存し、使用してください。
	またイソプロピルアルコールとエタノールは混ぜて使用しないでください。
	湿気の吸収と蒸発を防ぐため、アルコール容器はすぐに蓋をしてください。
注意	本体を傾けて使用しないでください。アルコールが容器から漏れることがあり、
	故障の原因になります。

内蔵している CPC (凝縮粒子カウンタ) *では、粒子検出のためにイソプロピルアルコールまたはエタノ ール蒸気を使用します。アルコール液を浸透させたアルコールカートリッジを本体に取り付ける事で、 CPC/CNC 内部でアルコール液がアルコール蒸気になります。アルコール蒸気と吸入した浮遊粒子が混 合することで、粒子を核とした液滴が生成されます。アルコールカートリッジに浸透しているアルコー ル液の残量が不足すると正常な測定が出来なくなりますので、本装置ご使用前にアルコールカートリッ ジにアルコールを補充してください。

*CNC(凝縮核カウンタ)とも呼ばれます。

3.1.1 準備

以下の構成品と**イソプロピルアルコールまたはエタノール**が必要です。イソプロピルアルコール、エタ ノールはお客様にてご準備ください。

- ・アルコールボトル
- ・保存キャップ
- ・アルコールカートリッジ
- ・凝縮液ラベル(IPA、エタノール)

本装置で使用するイソプロピルアルコール、エタノールは高純度な"試薬特級"アルコールを使用してく ださい。薬店、薬局等から入手したイソプロピルアルコール、エタノールは、純度が低く(約70%)、 本体に損傷を与える可能性がありますので使用しないでください。試薬品を販売している商社から入手 してください。下記特性以外のアルコールを使用して起こった故障については、保証対象外となります。 正しいアルコールを使用して、供給方法も厳守してください。

Chemical name:	2-Propanol
Synonym:	Isopropyl alcohol
Chemical formula	: (CH ₃) ₂ CHOH
Formula weight:	60.10
Assay:	99.5% or better

Chemical name:	Ethanol
Synonym:	Ethyl alcohol
Chemical formula:	C2H5OH
Formula weight:	46.07
Assay:	99.5% or better

上記のアルコールは特級を特定するものではありません。

付属の凝縮液ラベルはイソプロピルアルコールとエタノールの2種類あります。 ご使用するアルコールの種類に対応した凝縮液ラベルをアルコールボトル に貼り付けてください。

アルコールカートリッジは本体使用時以外、アルコールボトルに入れて保管してください。アルコール カートリッジの挿入口は、ほこりが入らないように保存キャップでしっかりと蓋をしておいてください。 保存キャップは、本体使用時にはアルコールボトルを密封するために使用し、それ以外は本体のアルコ ールカートリッジ挿入口に取り付けてください。

凝縮液ラベル

3.1.2 アルコールカートリッジへのアルコール液供給

本体のアルコールカートリッジ挿入口を開放にしないでください。 注意 開放されますと、動作不良や光学系が汚れる可能性があります。

- 1. 本体の電源を切ります。
- 2.保存キャップ(またはアルコールカートリッジ)を反時計回りに約 45度回しながら、アルコールボトルを開けてください。

アルコールカートリッジ・

アルコール充填範囲

清潔な所へ保存キャップ(またはアルコールカートリッジ)を立てかけ て置きます。

 ボトルが倒れてアルコールがこぼれないように注意しながら、準備 したイソプロピルアルコールをボトルのマークがついているレベル まで注いでいきます。







- アルコールカートリッジをアルコールボトルに挿入し、しっかりロックされるまで時計回りに約45度、回してください。
 このとき、力を入れすぎないようにしてください。
- 5. アルコールカートリッジを取り付けてから、カートリッジ内部のフェ ルトにアルコールが浸透します。数分間、アルコールに浸すことで ご使用になれます。

3.1.3 アルコールカートリッジの取り付け法

- アルコールボトルからアルコールカートリッジを取り外し、余分 なアルコールを取り除くため軽く振ります。この作業をしないと、 浸透させたアルコール液がアルコールカートリッジの先端部を塞 ぎ、吸引した浮遊粒子とアルコール蒸気の流れを妨げ、正常な測 定ができなくなります。カートリッジ外側表面のアルコールは、 乾燥するまで待つか、繊維くずの出ない紙製ウエスなどで拭き取 ってください。
- 右図のようにアルコールカートリッジ挿入口にアルコールカート リッジを挿入します。
 アルコールカートリッジ側面の溝とカートリッジ挿入口にあるタブを 一列に合わせて時計回りに約 45 度回して取り付けてください。

カートリッジ先端

アルコールカートリッジの正常な取り付けは右の図のように本体 にしっかり取り付けてください。

【ご注意】

カートリッジ挿入口奥にアルコールが溜まっている場合は、繊維 くずの出ない紙製ウエスなどで拭き取ってください。













3.2 本体準備

本体の電源を入れてください。①ホーム画面が表示されます。測定前には装置が正常に作動しているか、 測定に適した環境である(例:粒子が十分に存在し、装置がそれらの粒子を測定できる)かどうかを事前 に点検する必要がありますので「(2)バリデーションチェック」を選択して点検を行います。点検を行 わないとマスクフィットのテスト結果に信頼性を欠く可能性が存在します。マスクフィットテストを行う 前には必ず点検を行うようにしてください。「(1)フィットテスト」は「(2)バリデーションチェック」が 行われないと実行できません。点検の際には3.2.2~3.2.4 に記載した画面に表示される指示に従って進め てください。

3.2.1 外部メモリの確認

装置内に測定データを記録することはできません。測定を行う際は事前に計測結果を保存するための USB メモリが装置本体に接続していることを確認してください。

なお、PC 版ソフトウェアで作成したデータベースを、USB メモリに格納して利用することができます。

※測定データを記録する際に使用される USB メモリは付属のものをお使いください。

付属の USB メモリ以外につきましては動作のサポートをしておりません。

3.2.2 データベース選択	バリデーションチェック (2)を始める前に、 USB ポートタイプ A(H)に USB メモリを挿
データペースを選択 02/08/2024 15:46 データペースを選択	入します。
読み込み データベース USBボートに接続されているりムーパブルメディアのデバイスがありません。データベースのファイルのあるりムー パブルメディアデバイスに接続し、"再読み込み"をり少り方するか、上のリストから "Demo を選択してくださ い。	希望のデータベースを選択し、「読み込み」 を押し、「フィットテスト」もしくは「終 了」ボタンを押します。
USB再読み込み 終了	「再読み込み」ボタンを押すと、プルダウン メニューのデータベースが更新され、USB メ モリに保存されているデータベースが表示さ れます。
3.2.3 パーティクルチェック ^{(水)デーションチェック} 92/08/2024 15:57 ギロコィルターキーノイナコフクをめしてイださい	HEPA フィルタもしくはマスクを装着してい る場合ははずしてください。
開始を押して最小粒子濃度チェックを始めてください。 開始を押して最小粒子濃度チェックを始めてください。	「開始」ボタンを押し、フィットファクタを 計測するのに外部の粒子濃度が十分な濃度で あるかどうかを確認します。
1177-73771978 8	外部(マスクの外側)の粒子濃度によって は、測定環境がマスクフィットテストを行う のに不十分な場合があります。
	また、このプロセス上で装置が正常に動作し ているかを確認します。
	パーティクルチェックを終えたら、ゼロチェ ックに進んでください。

3. 測定前に

9

3.2.4 ゼロチェック	装置内部で漏れが発生していた場合は、測定
/ペリデーションチェック 新リフト動作確認 02/08/2024 15:59	結果に影響が出る場合があります。
マスク内サンブル:0	
ステップ 2:ゼロチェック 設定	セロチェックで、装置内部のリーク漏れや、
停止	接続个良か無いか確認しま 9。
パリテーションテェック結果 パリテーションテェック活果 長小約テ達県有モッジン会校、2027 (>= 1000)	HEPA フィルタを Sample 側のインレットに
	接続し(HEPA カートリッジの矢印が流れの
	方向に向いているかどうか確認してくださ
46 - 2	い)「次へ」を押してゼロチェック計測を始
- 終了	めます。
	ゼロチェックの計測が終われば、自動的に次
	ビロテェックが引き続き始まります
3.2.5 フィットファクタ	装置が正常に性能を発揮しているか確認する
	ため HEPA フィルタを使用してマスクのフィ
ゼロフィルターもしくはマスクを外してください。	ットファクタの確認を行います。
開始を押して最小粒子濃度チェックを始めてください。	
	HEPA フィルタを通した粒子濃度を1とした
再スタート	外気濃度の比率を計算します。
パリデーションテェック結果 最小地立于濃度チェック: 台塔 2077 (>= 1000)	それに上り装置内部での粒子濃度計測が正し
ゼロチェック: 台格 0 (<= 30)	くおこなわれているかどうかを確認すること
98大 パット, アフタナエック: 吉裕 > 311091 (>= 10000) サフト会社	ができます。
終了	
	バリデーションチェックをクリアすると「テ
	スト合格」と表示されます。
	<u>まこされたい提合け再度やり直してくださ</u>
プレチェック設定 2024/03/29 15:26	ンを押すと、必要な検査の数値を変更できま
外気の粒子濃度の最小計測値 決定増は1000以上でなければいけません。 本体の動作と周囲の空気中のパーティクル濃度 がフィットフルを実施するのに十分のと効めの合否 ドロ医素を確認す。	す。
ゼロチェック: 30 秒間における粒子最大許容測定数 1-30	数値を変更した後は、「保存」ボタンを押し
30 本物に上端の定応すれの方面が定め中を確	て変更を保存してください。
最大フィットファクタチェック:最小フィット係数 測定値は10000以上でなければいけません。 10000	
	初期設定值:
	1000 ; バーティクル最小値
保存 終了	30 ; ゼロハーティクル個 10 000 · フィットファクタ早士値
	ュレ,レレレ , ノィットノアング取入個

3.2.7 粒子発生器を使用するときの注意点

本体と粒子発生器は、3m 程度離してご使用ください。 NaCl を混ぜるときは、濃度が 0.1%程度になるようにしてください。 また、使用する NaCl は純度 99.5%以上の試薬をご使用ください。 (希釈には水道水も使用できます。)

3.3 被験者準備

マスクフィットテストを開始する前に、適切なアダプタを使ってマスクを本体の挿入口に装着し、テストを行う被験者に使用するマスクを装着してもらい、被験者自身でシールチェックまでを行って、しっかりと装着できていることを確認して下さい。また、マスク内部を測定に適した状況にする(入り込んだ粒子をマスク内部から除去する)ために5分ほど装着(29CFR 1910.134)してもらって下さい。その後測定に移ります。

マスクフィットテストを行う対象者は、適切な方法で、呼吸器保護装置の装着方法のトレーニングをあ らかじめ受けていなければなりません。不適切な装着を行った場合正確に計測できない恐れがあります。 測定中は検査結果の信頼性を担保するためにマスクの付け直しを行うことはしないでください。

4. 計測

4.1 フィットテスト

フィットテストを選択することで、JIS T8150 または OSHA などで定める定量的フィットテストを行うこ とができます。あらかじめ設定されたマスク種類やプロトコルを選択してフィットテストを行うことがで きます。また、新規にプロトコルを作成することもできます。データベースに登録することで、フィット テストの結果の保存や印刷を行うことができます。

4.1.1 Z	テップ 1			• フィットテスト
プルダウ	ンメニュー			①ホーム画面から(1)フィットテスト
フィットテスト ステット1/4	Demo		02/08/2024 15:46	を選択して計測を始めます。
	フィットテン	スト(1/4) - 被験者の選択		※(2)バリデーションチェックが済んで
並べ替え業性	検索			いない場合はテスト画面が表示されるの
被联	」		新規	で、3.2 本体準備を参考に実行してくだ
			T	さい。
炷	ミドルネーム 	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	50008	
社員番号	会社名	健康状態	 その他	● 利用者選択
				テストを行う対象者を選択します。すで
テスト日:	期日			にデータベースに登録している場合はプ
][44.7		ルダウンメニューから名前を選択しま
		終了	次へ	す。
				並び替え条件(「姓」「名」「ふりか
				な」「社員番号」「会社名」)を選択す
				るとプルダウンメニュー一覧を並べ替え
				ることができます。
				また、検索に検索したい「姓」「名」
				「ふりかな」を入力して検索が行えま
				ਰ.
				初めて計測を行う人の場合、もしくはデ
				ータベースに対象者のデータがない場合
				は、テスト実施前に登録する必要があり
				ます。
				「新規」ボタンを押すと入力できるよう
				になります。付属のタッチペンを用い
				て、画面に表示されるキーボードから個
				人の情報を入力してください。
				入力できたら、「保存」ボタンを押し
				て、入力を完了させてください

12



4.1.4 ス	ペテップ 4		● 検査の開
フィットテスト: ステップ 4 / 4	1 新ソフト動作確認	02/08/2024 15:4	。 測定内容力
被験者	中野,容子,65490	エクササイズ結果 結果	合は「戻る
マスクモデル	8210	19001人名:	定しなおし
プロトコル	JJS T 8150:2021 短縮 使い捨て	フィットファクタ(漏れ率):	1
		マスク外サンプル:	確認後、
115 - 2 0 - 1 5 - 1 -		マスク内サンプル:	
サンフルカウンド 火モ		総合的なフィットファクタ(漏れ率)	
	<u>4</u>		日本側の結果
			- 表示される
戻る	「開始」をタップするとテストを	開始します。 開始	サイズの-
	新いつに動作:20	n 2/00 (2024) 5 5	
34915 XP X795 4/4		12/08/2024 15:50 12/08/2024 15:50	副守ち返っ
100 kg 1日 マスクモデル	中封, 谷丁, 65490	エクササイズ名:	
プロトコル	oz10	町心 フィットファクタ(漏れ.率):	
יייייי ד א		127(0.8%)	択したテー
10	ካካጎ <i>አ 2/</i> 4	マスク外サンプル: 2105	ます。
	発声	2195 マスク内サンプル:	
サンプルカウント:	17	17	結果が保存
ут	<u>4</u>	総合的なフィットファクタ(漏れ率)	ができます
			必要なメモ
終了	マスク内サンブル (10)	/30) 停止	存アイコン
			計測が不合
			ムトレーニ
			ਰ
			ブラルシー
			クを行うし
			※計測の紀
			しらの問題
			ブルシュー
			て下さい。
			「印刷」て
			することか
			結果表示の
			クササイス

|始と終了

が表示されます。不備がある場 る」で前のページに戻り再度設 してください。

「開始」を押すとテストが開始

'ササイズが終了する毎に、

表示に結果が表示されます。

結果は現在行っているエクサ つ前の結果です。

?すると、ディスプレイにテス が表示されます。測定結果は選 -タベースに自動的に保存され

すできる場合は、メモ欄の入力 -

Eを入力して、メモ欄右横の保 >をタップしてください。

合格になった場合、リアルタイ ニングのボタンが有効になりま

イムトレーニングでトレーニン て再度フィットテストを実施し ۱。

吉果合格しなかった場合は何か **動が考えられます。巻末のトラ** -ティングを参照し確認してみ

でフィットテストの結果を印刷 ができます。

D結果タブをタップすると全工 、の結果を表示します。

注意



本体の内部をきれいに保つために、本体を使用した後、ゼロチェック HEPA フィ ルタを挿入口に装着し、電源を切る前に約5分間 AccuFIT9000 を作動させてくだ さい。本体の中の汚れた粒子をそのままにしておくと故障の原因になる場合があ ります。本体を使用しない間は、ゼロフィルタを挿入口につけたままにしておい てください。

4.2 フィットチェック

フィットチェックは、正しくマスクを装着できているかを簡易的にチェックするモードです。フィットチェックプローブを用いてフィットチェックを行うことで、マスクを破壊することなく、マスクと顔面の密 着度合いをチェックすることができます。JIS T8150 または OSHA などで定める定量的フィットテストを 行う場合は、フィットテスト(4.1 フィットテストを参照)を実施してください。



マスクタパージ時間 **(*マスク部のチューブ長 を表更したりサンプルの建て におサントル建催価が ーケルにイーンできない場合 はパージ時間 マスク外サンプル時間 3 アスクハパージ時間 11 マスク内パージ時間 11 マスク内パージ時間 11 マスク内パージ時間 11 マスク内サンプル時間 6 マスク内サンプル時間 6 アスクウサンプル時間 6 シックリング時に起子がント 度します。 合格基準 5.0	マスク外パージ時間 4 ************************************	1率合格		74	ットチェック設定	2 2		
マスク外サンプル時間 3 サイパープを結い場合 サイパープを結い場合 はパージ時間 アイット マスク内パージ時間 11 マスク内パージ時間 11 サンプルグ制に粒子ガント 濃度値が十分でない場合 にサンプング制電絵 系します。 マスク内サンプル時間 6 メリカング制に粒子ガント 濃度値が十分でない場合 にサンプング制電絵 系します。 合格基準 5.0 %	マスク外サンプル時間 3 アカンパキジを訪い場合 はパージ時間を取ります。 漏れる マスク内パージ時間 11 フイツト マスク内パージ時間 11 マスク内サンプル時間 6 第 ウンカング時間 5.0 % 合格基準 5.0 % 始 保存 終了	マスク	マスク外パージ	時間	4	*	本体とマスク間のチューブ長 さを変更したりサンプリングま	
痛れ当 フイット マスク内パージ時間 マスク内サンプル時間 合格基準 5.0 %	漏れ2 マスク内パージ時間 11 ア サンガング時に粒子がント 深度都十分でない場合 にサンガンジ時間 6 ア 泉にはす。 合格基準 5.0 % 保存 終了 3	マスク	マスク外サンプ	心時間	3	4	CLEATガンド濃度値か 十分にパージできない場合 はパージ時間を長くします。	
マスク内サンプル時間 6 二 2 (以ます。 合格基準 5.0 %	^{サンプリング相応 184 - ガンア マスク内サンプル時間 合格基準 S.0 % 保存 終了 る}	漏れ ² フィット	マスク内パージ	時間	11	*		÷
合格基準 5.0 %	合格基準 5.0 % 保存 終了 る	N 80 1	マスク内サンプ	心時間	6	4	サンフリンク時に和十方フント 濃度値が十分でない場合 にサンプリング時間を 長くします。	~
	保存 終了 は		合格基準		5.0		%	
T本任 於」	始 iる			保存		ŧ	終了	
開始 や		開始	-					ະຈ

● 設定

マスク外パージ時間、マスク外サ ンプル時間、マスクパージタイ ム、マスクサンプルタイム、合格 基準の各項目を設定します。

マスク外パージ時間は4~99 の範囲で設定ができます。 マスク外サンプル時間は3~99 の範囲で設定ができます。 マスク内パージ時間は11~99 の範囲で設定ができます。 マスク内サンプル時間は6~99 の範囲で設定ができます。

合格基準は、漏れ率で入力しま す。(出荷時の合格基準は5%以 下で設定されています。)

4.2.4 フィットチェックプローブの使用方法

フィットチェックモードを使用する際は、オプション品のフィットチェックプローブが必要となります。





 ①ご使用の前にフィットチェックプローブをエタノール などで拭いて清掃してください。

②本体のインレットにツインチューブを接続し、反対側 のチューブ(透明、青の両方)にフィットチェックプロ ーブを接続してください。

③サンプル側のチューブに接続したフィットチェックプ ローブを、頬のあたりから顔面とマスクの間に挿し込ん でください。フィットチェックプローブの先端が口と鼻 の間付近にくるまで挿し込んでください。

④チューブに引っ張られてフィットチェックプローブの 位置がずれたり、顔面とマスクの間に隙間ができたりす ると、正確な測定ができなくなりますので、フィットチ ェックプローブが動かないよう継手付近のチューブを手 で保持してください。

⑤フィットチェックプローブを保持したままフィットチ ェックを行ってください。

フィットチェックプローブは顔面に直接触れるため、かぶれなどの症状を起こす 可能性があります。ご使用の前に問題がないかご確認ください。異常が見られた 場合はご使用をお控えください。 フィットチェックプローブを廃棄する際は、各自治体の指示に従って処分してく ださい。 [フィットチェックプローブ材質: PP(帯電防止性樹脂)]



注意

フィットチェックプローブは専用のものをご使用下さい。専用品以外のものを使 用すると、正確な検査ができない恐れがあります。

4.3 記録

測定後は接続されている USB メモリ内に収められているアクティブなデータベースへと自動的に保存されます。本体がスタンドアローンのモードで使用されている場合は、データを単独で本体に保存することはできません。データを保存したい場合は、USB メモリを使用してください。USB メモリがない場合、計測することは可能ですが、データは保存されません。

4.4 印刷

本体とプリンターを USB 接続することで測定結果を印刷することができます。 (13) プリンターのセットアップより印刷の設定を行うことができます。

4.5 リアルタイム計測

(3) リアルタイムでは、リアルタイムでグラフと数値による粒子カウント数を計測することができます。 ※このデータは保存することができません。

この機能は、マスクの使用におけるトレーニング、マスクがフィットテストに使用できるものかどうか、 またトラブルシューティングの際に利用します。この機能を利用することでマスクの微調整を行う際な どにおけるフィットファクタ等の変化を確認できます。

※フィットテストを正しく行うためにフィットテスト直前には実施しないようにしてください。



4.6 管理者モード(アドバンスモード)

(12) ツールボックス

モード	機能
新規作成	オリジナルのデータベースから、フィットテストの結果以外のもの
	をコピーすることができます。
コピー	データベースに存在するすべてのデータをコピーすることができま
	す。
統計	事前チェック、登録者、マスク、プロトコル、フィットテスト結
	果、ファイルサイズについての記録されている情報を確認すること
	ができます。
保存	データベースを USB メモリに保存することができます。
	万が一、測定中に測定データが USB メモリに保存することができな
	かった時にこのコマンドを利用して、代用の USB メモリに計測デー
	夕を保存することが可能です。
名前を付けて保存	現在利用しているデータベースとは異なる名前でデータベースを作
	成・保存することができます。最初の起動時は Demo 用のデータベ
	ースしか存在しないので、このコマンドから新しいデータベースを
	作成し保存してください。また、バックアップ作成の際はこのコマ
	ンドから作成してください。
削除	USB メモリからデータを削除することができます。削除したデータ
	は復元できないので実行するときは注意してください。

4.7 外部制御モード

使用している PC 内部にソフトウェアがインストールされている場合はそちらから制御を行うことができます。

詳しくは別冊ソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

5. 設定と管理

5.1 管理

5.1.1 被験者

砂酸着データ Dema 09/07/2024 12:31	データベース内にある登録者情報を確 認することができます。プルダウンメ ニューから閲覧したい人の名前を選択 してください。 必要に応じて「新規」から新規登録を
社員審号 会社名 健康状態 その他 テスト日: 期日 「 「 「 「	行ってください。
波频者データ Demo 03/07/20241232	新規登録を行う際には 「姓」、「名」、「社員番号」が必要 になります。そのほかの情報は必要に 応じて追加してください。
健康状態 その他 □ □ オペレーター 保存 【保存	オペレータにチェックを入れると、 フィットテスト時にオペレータとして 選択できるようになります。 フィットテスト時にオペレータを選択 するにはオペレータにチェックを入れ て 被験者登録を行ってください。
	「保存」ボタンを押すことでデータベ ースに登録することができます。

5.1.2 マスク

マスク Demo 03/07/2024 12:35	登録しているマスクの情報が確認できま
マスクデータベース・既存の登録を編集します。	す。
マスカのリスト 秋造元 モデル 型 合格値	プルダウンメニューより登録されている マスクを選択すると、「製造元」、「モ デル」、「型」、「合格値」の情報が表 示されます。
□ フィレシー効率が99%未満	必要に応じて「新規」から新規登録を行
終了	ってください。
マスク Demo 03/07/2024 12:36 マスクデータの新規登録	「製造元」、「モデル」、「型」、「合 格値」の 4 つの項目を入力して「保存」 ボタンを押して登録してください。
製造元 モデル 型 合格値	適正に入力されていない場合「保存」を
┃	押すことができないのでご注意くださ
□ フィルター効率が99%未満	い。
保存 終 て あ衆 30%	

5.1.3 プロトコル

- 2 ml					マスクフィットテストのプロトコルを確
フロトコル Demo	rn⊦ni.≓	-br'-7.8	変在の警鐘を表示します。	03/07/2024 12:37	認することができます。
		큿		新相	参照したいプロトコルをプルダウンメー
		1		কা স্য	
現在のプロトコレ				-	ユーから選択し「衣示」を押してくたさ
		_0			しい。
		וכ	אבאנ		
				終了	
プロトコル I Demo				03/07/2024 12:38	プロトコルの詳細を確認することができ
		プロトコ	ルの詳細		ます。
プロトコル名	JIS T 8150:202	1.短縮使し	·捨て		
次のデスト	12	月	マスタ外サンプル時間	5 秒	画面左下にあるチェックボックスにチェ
マスク内パージ時間	11	わ	マスク外パージ時間	4 B	ックがある場合は、マスクフィットテス
エクササイズ名	サンフル時間 50	除外 (いいま	エクササイズ名	サンブル時間 酸外 30 いいえ	トに反映されます。
お顔を左右に回す	30	ເພາະ	4:顔を上下に動かす	39 (YGAZ	
-	-	-	-		
•	-	-	-		
- エカササイズが1つでも失敗すると直ち	- にフィットテストが終了しま	- tī.	-		
▼ マスク外サンブルを2回使用してフィット	テストを行ってください。				
				終了	
-Version Constitution					新規登録する場合は、「新規」を押して
フロトコルの詳細				03/07/2024 12:38	ください。
プロトコル名	<u> </u>				
新しいプロ	- トコル				
					追加するフロトコル名と
	次のテス	th 12	🔶 月		次のテストの月、
ਕ	スク外サンブ	°ル 5	🔷 秒		マスク外サンプリングの時間、
	マスクタトパー	~j 4			マスク外パージの時間、
		- <u> </u>	**		マスクパージの時間を入力します。
	マスク内バー	シ11	杪		
					「OK」を押すと、プロトコルが登録され
ОК				終了あ般。	エクササイズ入力画面になります。
					w 乗され (ノロトコル選択) 画面に戻り
					ます。

デストプロトコレ 03/07/2024 12:5	🛛 「追加」を押してエクササイズを追加
プロトコレの話す雑冊	します。
דאריטולא דאריטול דאר דאריטולא דאריטולא דאריטולא דאריטול דאריטול דאריטול דאריטולא ד	
次の7スト 12 月 マスクダルプラの日間 5 沙 マスクダルプラの日間 11 秒 マスクダルプラの日間 4 秒	「追加」を押すと、エクササイズ
エクササイズ名 サンフル時間 脱身 エクササイズ名 サンフル時間 脱身	入力画面が表示されます。
□ 7.0HH/(7011-026.45972.6754/172.66971.875.1	
□ ロンジン にんかえ ひん R 7 (E (A / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 /	
保存追加終了	
exerciseNParameters 03/07/2024 12:-	新しいフィットテスト項目の名称、
	- マスクサンプルタイム、除外のチェック
新しいエクササイズの項目番号 1	を行います。
新しいフィットテスト項目の名称	
	すでに複数のエクササイズを登録
	している場合は、新しいエクササイズの
	「百日番号を変更すスことにより
□ 除外	項口面うで変更することになり
	修正することが可能です。
終了 保存	
	【保存し、ノロトコルの詳細画面に し、一、、、、
	戻ります。
	「終了」を押すと入力した内容を
	破棄し、プロトコル詳細画面に
	戻ります。
〒2ドブロトコ11。	エクササイズをさらに追加する場合は、
	「追加」を押してください。
プロトコル名 アストプロトコル	
次の7 Xト 12 月 7X3 州リン/M目 5 秒	「保存」を押すと、登録した内容が
マスの約月-2年回 11 秒 マスク約月-2年回 4 秒 〒 トル・ハーマク サングル時間 〒 トル・ル・ノーマク サングル時間	保存されプロトコル選択画面に
エクリリイス名 総外 エクリリイス名 5550 4mm 総外 1:首を左右に描述 10 (X)2 - - - -	
· · · · · · · · · · · ·	
□ エクササイズが10でも失敗すると直ちに27ットラスド始終了します。 □ マ270条サンドはな2回使用。272ットラスは分泌了します。	ノロトコルとエクササイスかすべて
但 1977 22774 BIX BOX 27777 BI 2014 COV	破棄され、プロトコル選択画面に
	戻ります。
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

5.1.4 フィットテストレポート

フィットテストレポート Demo 03/07/2024 13:32 フィットテストをデータペースに記録します。	データベースに保存されているテスト結 果を確認することができます。
表示 歴熟、太郎、06/02/2017 12:20	「表示」で結果の参照、「印刷」で結果 を印刷することができます。 印刷を行う際には(13)プリンターのセ ットアップで設定した後に行ってくださ い。
終了	
フィットテストレポート Demo 05/07/2024 18:53 フィットラストをデータベースに記録します。	結果を表示した画面です。
フルネーム 名前: 佐藤, 太郎 10番号: 1957 会社名: 日本カノマックス テスト目: 06/02/2017 12:20:21 期日: 06/02/2017 12:20:21 期日: 06/02/2019 合格/ 不合格: 合格 備号: 眼鏡看 マスクサイズ: Macium プロトコル: CSA Z94.4-2011 オペレーター: K.H.	表示後も「印刷」から、印刷することが できます。
印刷 終了	

5.1.5 データベースを選択

データベースを選択 データベースを選択 読み込み データベース Eemo Demo データベース Comp Demo データベースを使うとAccuFTのすべての操作ができますが、テスト結果はUSB と目的他のメディアに見たされることは有りません。はないないのですべての操作ができますが、テスト結果はUSB	データベースの読み込みと更新を行うこ とができます。 利用したいデータベースをプルダウンメ ニューから選択し「読み込み」を行うと そのデータベースを使用することができ ます。
USB両読み込み	「再読み込み」はUSBメモリを変更した 後、プルダウンメニューの内容を更新す る際に用います。

5.1.6 ツールボックス

et hat given the second s	管理者向けの機能です。
テーシャースシール Demo US/07/2024 13:34 データーペースシール	詳細は <mark>4.6 管理者モード(アドバンスモ</mark>
新規作成コピー統計	<u>ード)</u> を確認して下さい。
名前を付けて保存 保存 削除 データベース アータベース 警告:これらのツールは取り扱いを間違うとデータファイルを失うことになります。詳細についてはAccuFTオペレーションマニュフルをご参照化さい。 マ リストからデータペースをひとつ選択し、下記からツールを1つ選択します。"保存" もしくは "名前を付けて保存"のツールを使って、今読み込んだデータペースをファイルを保存します。	「再読み込み」は USB メモリを変更した 後、プルダウンメニューの内容を更新す る際に用います。
JSB再読み込み 終了	

5.2 設定

5.2.1 プリンターのセットアップ



5.2.2 通信

※詳しい設定に関しましては、別紙ソフトウェアの説明書をご覧ください。 PC との接続方法には USB・LAN・Wi-Fi の3つがあります。それぞれ説明していきます。

通信 02/08/2024 16:35	● PC ツール
902-ル Lan Wi-Fi ホストにIPアドレス、ボートにボート番号を入力し、LANもしくはWiFi経由でPCに接続してください。	PC との連携の際に必要な IP アドレスとポート
	番号を設定します。
ホスト <u>192.168.2.105</u>	
接続ボート 9000 保存	・小人で、IFプドレス 、接続ポート・ポート番目
	となります。この設定は LAN・WI-FI 接続のみ
ステータス 接続がありません。	必要になります。USB 接続の際は必要ありませ
	ん。設定が済んだら「保存」にて保存を行って
接続 終了	ください。
	なお、接続方式は USB/LAN/Wi-Fi のチェック
	ボックスを選択することで選べます。また、接
连续计识	続状況に関してはステータスのテキストボック
	スに状況が表示されます。
	テキストボックス内に「進備完了」と表示され
	按統//元」したり、「終」」で返出して設定を 42
	終えて下さい。
	● LAN 接続
通信 02/08/2024 16:3: PC>-# [LAN] Wi-Fi	接続に必要な情報を入力し設定を行います。
以下の情報を入力して保存し、LAN経由でPCソールに接続してください。DHCP機能が抜れば、ネームサーバーのアドレス は日前的に実施しまであます。	IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲ
● DHCP経由でIPアドレスを取得します。	ートウェイを設定します。
O IPアドレスを特定してください。	DHCP が使えるようであれば、「DHCP 経由で
IPアドレス 172.16.3.242	IP アドレスを取得します。 を押すと自動的に
サブネットマスク 255.255.252.0	17 テレンを収得してす。」 という こ日動 いに 取得する マレができます
デフォルトゲートウェイ 172.16.0.4 保存	
MAC 7817	てつじない場合は IP アドレスを特定してくた
WIAC 7 FVX 16:50:90:10:01:99	さい。」を選択し、イットワークの設定を確認
	したうえで手人力を行ってください。テキスト
	ボックスを選択することで入力が可能になりま
	す。
	設定が終わったら、「保存」で保存し、「終
	了」で退出して設定を終えて下さい。

パスワード [*******		
I			
 ● DHCP経由でII ○ IPアドレスを特定 	□ 入力文字を表う Pアドレスを取得し Eしてください。	RUata. Jetta.	
Pアドレス		192.168.2.4	保存
サブネットマスク		255.255.255.0	
デフォルトゲート・	רבל	192.168.2.0	
MAC アドレス			終了

● Wi-Fi 接続

「SSID検索」ボタンをタップし、表示される一 覧より使用する無線ルーターの SSID を選択し てください。次に、選択した SSID のパスワー ドを入力してください。「入力文字を表示しま す。」を設定することにより、パスワードを表 示することができます。

その後、DHCP が利用できるのであれば、

「DHCP 経由で IP アドレスを取得します。」を 選択し、自動取得を行ってください。DHCP が 使えないのであれば、「IP アドレスを特定して ください。」を選択し、ネットワークの設定を 確認したうえで手入力を行ってください。テキ ストボックスを選択することで入力が可能にな ります。

設定が終わったら、「保存」で保存し、「終 了」で退出して設定を終えて下さい。

5.2.3 設定

*** 02/08/2024 1635 測定に関する各種設定と言語の設定を行うこのができます。 *** 02/08/2024 1635 ができます。 *** 日本語 *** ?/09/72/17-500億年 *** 設定後は「保存」で保存して下さい。言語を変更する場合は再起動してください。 ロ 2/09/72/17-500億新劇 *** ●		
高速度警告レバル 言語 20000 日本語 フィットラストデーダの保存 設定後は「保存」で保存して下さい。言語を変 見てパットラストデータの自動が剥 ロフィットラストデータの自動が剥 更する場合は再起動してください。	設定 02/	測定に関する各種設定と言語の設定を行うこと ができます。
図 すべてのフィットファクタが合格してい場合、フィットテストを中止	高速度警告レベル 言語 20000 フィットテストデータの保存 全フィットテストボータの保存 マンパットテストボータの自動印刷 □ フィットテストボータの自動印刷 □ フィットテストボータの自動印刷 ☑ すべてのフィットファクタが合給していない場合、フィットテストな中止	設定後は「保存」で保存して下さい。言語を変 更する場合は再起動してください。
□ フザーオン 保存 終了	ロブザーオン	終了

5.2.4 日付と時刻

日 付凶寺刻 [[日付 02/08/2024 [•] 2024 2月 [•] 日月火水 金土 28 293 03 1 2 3 4 5 6 7 ⁽⁶⁾ 9 10 11121314151617 181920 12 223 24 25 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9	呵 問 16:36:32	02/06/2024 16:36	本体内部の日時変更を行うことができます。 変更後は「OK」を押して設定を保存してくださ い。
保存	E		終了	

5.2.5 タッチパネルの補正



5.2.6 本体の情報



6. メンテナンス

日常の保守として次の項目の実行をお願いいたします。 1年に1度、定期校正を行うことで、常に良い状態で測定できます。 定期校正については販売店または弊社にお問い合わせください。

本体の外側ケースを開けると、保証対象外となります。 また、内部にはクラス1レーザーダイオードを使用しております。 大変危険ですので、絶対にケースを開けないでください。 必要なメンテナンスや本書に記載されていないサービスについては、販売元または 弊社にご相談ください。

6.1 校正

装置本体の校正に関しましては、個人で行わず弊社へ一度お送りいただくようお願いいたします。 個人で校正を行ってしまうと測定に関して不具合が生じる可能性があります。

6.2 アルコールカートリッジ

アルコールカートリッジ内部のフェルトはアルコールを吸収・保持する役割を果たします。 アルコールカートリッジは本体に挿入するため、清潔な状態を保つようにしてください。 本体内部にほこりなどが入ると、内部にあるノズルを塞いだり機器の動作に支障をきたす恐れがありま す。アルコールカートリッジ及び保存キャップに汚れがつかないように保管・使用してください。

・フェルトのクリーニング及び交換時期

アルコールカートリッジ内のフェルトとメッシュは、その場で交換することができます。 本装置には、交換用にフェルトとメッシュのセットが2セット付属されています。 通常、フェルトは以下で示す問題が起きない限り、交換の必要はありません。

1. フェルトがほこりやオイル等で汚れている。

→通常の大気では起こりませんが、高濃度粒子 (ボイラー室や燃焼エアロゾルなど)をサンプリング するのに使用した場合、フェルトが汚れている可能性があります。フェルトの汚れがひどくなりす ぎると測定結果に影響を及ぼす可能性があるため、交換する必要があります。

2. アルコールカートリッジ内部のメッシュが詰まっている。

→ご使用済みの汚れたアルコールにアルコールカートリッジを長時間浸しておくと、アルコールカ ートリッジ内部のメッシュが詰まる可能性があります。メッシュは洗浄することで再利用できます が、詰まりがとれない場合は交換する必要があります。

3. 湿気による計測不能

グレード2の試薬プロパノールは非常に吸湿性が高いため、湿気の多い空気が本体の中に入ると、 アルコールカートリッジの中に水分がたまり CPC/CNC の効率を下げてしまうことがあります。そ の場合は、フェルトを乾燥させるために取り外し、スペアのフェルトをつけておいてください。水 分を含んでいたフェルトは乾燥すれば再利用できます。フェルトやメッシュに汚れが目立った場合、 新しいセットに付け替えてください。フェルト外観の多少の変色は、性能上の問題はありません。 ・フェルトとメッシュの確認と交換

- ①カートリッジからフェルトを外すには、カートリッジの継ぎ目に近い部分を両手で握り、分け目の部分に力を加えていきます。カートリッジが2つの部品に分かれ、白いフェルトがみえます(下図①)。
- ②二分割したら、フェルト除去ツール(木製の小さい棒)でカートリッジ筒の先端の穴からフェルトとメ ッシュを押し出し、カートリッジから取り外します(下図②)。

③フェルト及びメッシュが清浄であることを確認してください。

フェルトは、大きな変色等がみられない場合はご使用上問題ありませんので、フェルトの乾燥を行っ た後、再度組み立ててください。

目視で確認できる汚れや変色がある場合は新しいフェルトと交換する必要がありますので、変色した フェルトは廃棄してください。※必要に応じて交換してください。

メッシュは透かして、穴が全て空いていることを確認してください。穴が塞がっていたら、メッシュ にエアを吹き付けてクリーニングしてください。完全にとれないようであれば、付属されている新品 に交換してください。



①カートリッジの分解



②フェルトとメッシュの取り出し

・カートリッジ組立



カートリッジ筒内に清潔なメッシュを入れ、筒の底まで入り込んでいることを確認してください。 次に、フェルトを筒の底に当たるまで入れ、取り外した手順と逆の手順で組み立てます。 最後に全体にエアをかけ、細かいほこりを除去します。

6.3 メッシュ(インレット)

使用しているとインレット内部に設置しているメッシュが汚れで詰まってくることがあります。必要に 応じて本製品からインレットを取り外し(下図①)、インレットを分解後(下図②)、エアを吹き付けてク リーニングしてください。(クリーニング中、メッシュなどの部品の紛失にご注意下さい。) インレット組み立ては、分解した手順と逆の手順で組み立てます。



Ambient 側インレット(左)も同様に取り外せます。 ① インレットの取り外し



メッシュはインレットメッシュキャップを外して、インレットを下に向けると取り外せます。 ② インレットの分解

6.4 チューブ

本製品使用中、チューブ内側に結露、または水滴が見られましたら、エアを吹き付けるなどを行い、 十分に乾燥させてから使用して下さい。 水または溶剤など液体が残留しているチューブは、十分に乾燥させてから使用して下さい。 本製品に接続したチューブには、水または溶剤など液体を吸い込ませないで下さい。

7. 主な仕様

品名	マスクフィットテスター AccuFIT 9000	
モデル番号	3000-00	
測定範囲	0~100,000 個/cm3	
測定粒径	0.015~1 μm	
流量	サンプル:100cm3/min、トータル:700cm3/min	
	イソプロピルアルコールまたはエタノール(純度:99.5%)	
ZUJ_U	一度の補給で約8時間連続計測可能	
5.163-16	※イソプロピルアルコール、エタノールはお客様でご用意いただく必要がありま	
	す。	
ディスプレイ	フルカラータッチスクリーン [153(W)×93(H)mm]	
インレットポート	アンビエント(左の青いポート)、サンプル(右のシルバーのポー	
通信機能 USD (ハート3 J: デバイス1 個、ハスト2 個)、イーザ 通信機能 ート1 個)		
Nフトウェア	Windows 7 8 10 11 対応 Microsoft Net version 3 5	
電源	AC 7/9/79 (AC 100~240V 50/60HZ)	
動作習慣	下記の環境条件にて使用可能:	
到作场况	温度 15~ 35 ℃/湿度 20 ~ 85 %RH (結露を生じないこと) *	
保存環境	温度 -20~50 ℃/湿度 0~85%RH (結露を生じないこと)	
外形寸法	W 208 × D 263 × H 117 mm	
	約 2.3kg	
	AC アダプタ、電源コード、ゼロチェック HEPA フィルタ、	
	アルコールボトル、保存キャップ、アルコールカートリッジ、	
標準付属品	交換用フェルト・金属メッシュ(各2個)、チューブ、	
	USB メモリ、USB ケーブル、イーサネットケーブル	
	ソフトウェアダウンロードサイトのご案内、ネックストラップ	
	フローフ装着治具、ブローフキット、ハードタイプキャリングケー	
別売品	ス、ソフトタイブキャリンクケース、粒子発生器、フィットチェッ	
	クノローノ	

* AccuFIT 9000 には防水機能は有りません。雨などの水滴がかからないようにご注意ください。

8. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
カウント値が低すぎる	アルコールが少ない。	アルコールカートリッジにアルコールを
(予想した値より低い)		補給してください。
		(3.1 アルコールの補充を参照)
	 測定場所の粒子カウントが低い。	_
	アルコールカートリッジ内部に湿	アルコールカートリッジ内部のフェルトを
	気が溜まっている。	交換または、乾燥させてください。
		(<mark>6.2 アルコールカートリッジ</mark> を参照)
	ポンプの故障により流量が低下し	ポンプの動作に注意してください。
	ている。	エラーステータスはでていないか画面を
		確認してください。
		ポンプの流量を確認してください。
	仕様範囲外の環境で機器を動作さ	仕様に沿った環境で動作させてくださ
	せている。	い。(15~35℃、20~85%RH 結露なき
		こと)
	質が悪い、または汚れたアルコー	アルコールカートリッジ内部のフェルト
	ルを使っている。	を父換してくたさい。使用に適したアル
	メッシュか目詰まりしている。	余分なアルコールでメッシュの目か詰ま
		うている可能性がのります。
	元子糸にはこりやアルコールか人 りは4 でいる	販売元の日本カノマツクス㈱(最終へー)
		ご連絡ください
		販売元の日本カノマックス㈱(最終ペー
	がある。	ジ参照)または、お買い上げの代理店に
		ご連絡ください。
【PD LD Error】表示	本体内部の光学系に異常が発生し	販売元の日本カノマックス㈱(最終ペー
	ている。	ジ参照)または、お買い上げの代理店に
		ご連絡ください。
【Pump Error】 表示	本体内部のポンプに異常が発生し	販売元の日本カノマックス㈱(最終ペー
	ている。	ジ参照)または、お買い上げの代理店に
		ご連絡ください。
【Peltier Error】 表示	本体内部のペルチェ素子に異常が	販売元の日本カノマックス㈱(最終ペー
	充生している。	ン ジ 照) または、 お 貝 い 上 け の 代 埋 占 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
		こ理給へたさい。

【Low Alcohol】表示	アルコールの量が少ないです。	アルコールカートリッジにアルコールを
		補充してください。
【Count Over】 表示	測定濃度が濃すぎます。	濃度を 100,000 個/cc 以下で動作させて
		ください。
[Power Supply	適切なACアダプタが利用されてい	本体に付属の AC アダプタを利用している
Voltage Error】表示	ない。	か確認してください。
	本体内部の回路に異常が発生して	販売元の日本カノマックス㈱(最終ペー
	いる。	ジ参照)または、お買い上げの代理店に
		ご連絡ください。

9. 製品保証とアフターサービス

 製品保証 ◆ 当社では、製品保証書を発行しておりません。 					
◆ 製品には、ユーザー登録のご案内を添付しておりますので、ご購入の際は、必ずお受け取り ください。この記載内容に従って弊社ホームページのトップページからユーザー登録を行っ ていただきますようお願いいたします。登録されますと、当社にて保証を開始いたします。 尚、ご登録なき場合は保証しかねる場合があります。					
◆ 保証期間は電池などの消耗品を除き、原則として、ご購入日から2年間です。					
アフターサービス ◆ 具合の悪いときはまずチェックを… ~ 8 トラブルシューティングの項目をお読みになり、故障かどうかをお確かめください					
 ◆ それでも調子の悪いときは… 販売元の日本カノマックス㈱(最終ページ参照)、または、お買い上げの代理店にご連絡ください。 					
◆ 保証期間中での修理は… 当社の製造上、回路部品、材質などの原因によって故障が発生した場合は、無料で修理させていただきます。					
◆ 保証期間が経過した後の修理は… 修理によって、機能、及び精度が維持できる場合は、ご要望にしたがって有償修理させて頂きます。					
◆ 修理部品の保有期間について… 部品供給・メンテナンスは原則として、販売終了から 5 年を目安としております。部品は必要量を予測して確保しておりますが、不測の事態により、販売終了から5年経過前に部品供給・メンテナンスを終了させていただく場合があります。詳しくは当社サービスセンターへご相談ください。					
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。 * 製 品 名 AccuFIT9000 * 型 名 3000-00 * 器 番 ○○○○○○ * 故障の状況 できるだけ詳しく * ご購入年月 <u>○○○○年○○月</u>					



この製品に関するお問い合せ カスタマーサポート TEL 0120-009-750 E-mail: environment@kanomax.co.jp

修理に関するお問い合せ サービスセンター TEL 0120-981-959 E-mail: service@kanomax.co.jp

□ 東京営業所

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目6番2号 TEL: (03) 5733-6023 FAX: (03) 5733-6024

- 大阪営業所 〒565-0805 大阪府吹田市清水2番1号 TEL: (06) 6877-0447 FAX: (06) 6877-8263
- 名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市名古屋市中区丸の内 3-7-26 丸の内 ACA ビル 603 号室 TEL:(052)953-5660 FAX: (052)953-5661

©2018-2023 日本カノマックス株式会社

無断転載を禁じます。 本書の内容は、断り無く変更することがあります。

